

資料配布の場所

1. 国土交通記者会
 2. 国土交通省建設専門紙記者会
 3. 国土交通省交通運輸記者会
 4. 筑波研究学園都市記者会
- 平成30年7月13日同時配布

平成30年7月13日
国土技術政策総合研究所

「浸水予測システム」を活用した水防訓練を 中野区で行います！

～これまで得られなかった浸水予測情報により逃げ遅れの防止や効率的な浸水対策へ～

平成30年7月15日（日）に中野区で実施される水防訓練において、国総研が開発中の「浸水予測システム」を活用した避難訓練を行います。

国総研では、集中豪雨等による浸水・洪水から人命・資産を守るための被害防止活動を支援するための技術を研究しています。

居場所に応じた浸水深予測情報を提供するための技術として、「浸水予測システム」のプロトタイプ（試行版）を構築しました。この取り組みは、内閣府が進める戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）※「レジリエントな防災・減災機能の強化」の対象施策です。

※SIP（戦略的イノベーションプログラム）：総合科学技術・イノベーション会議が府省・分野の枠を超えて基礎研究から実用化・事業化までを見据えた取組を推進。

浸水予測システムの概要

- 1時間先の浸水深・範囲を、予測雨量データ等の受信から10分以内で予測・配信できる浸水予測システムのプロトタイプを構築。（神田川流域・石神井川流域）
- 河川水位・浸水深が事前に設定した値（例 浸水深30cm）を超過すると予測された場合にアラートメールを配信する機能

を用いた社会実験（武蔵野市・中野区等）を平成28年から実施。



「ゲリラ豪雨を迎え撃て！世界初の技術を使った水防訓練」の概要

- 日時：平成30年7月15日（日）午前10時～12時
- 場所：南中野中学校 中野区南台5-22-1（参加無料）
- 訓練内容

- ・講演（現在の危険性と最新技術について）
- ・浸水予測システムを活用した避難訓練

【問合せ先】

- 「浸水予測システム」に関する内容

国土技術政策総合研究所 河川研究部 水害研究室 室長 板垣・研究官 瀬能
直通：029-864-4966 FAX：029-864-2688

- 「ゲリラ豪雨を迎え撃て！世界初の技術を使った水防訓練」に関する内容

公益社団法人 東京青年会議所 中野区委員会
電話：090-2230-2081 FAX：03-3389-7586